

「いわてポートフォーラム 2025 in 東京」を開催！

港湾空港課

令和7年1月14日に「いわてポートフォーラム2025 in東京」を開催し、133社229名の多くの企業・団体のみなさまに御来場いただきました。

本フォーラムは、岩手県に立地している荷主企業の首都圏の本社等や、物流事業者、船社等に対し、県内港湾利用のメリットや復興道路等の利便性等を紹介し、県内港湾の利用拡大や臨海部工業用地への企業立地を促すことを目的に開催しています。

第1部では、達増知事による挨拶が行われ、「岩手の港湾の今」として、三陸沿岸道路の利便性や世界の港とつながるコンテナ航路、年々増加傾向にあるクルーズ船の寄港など産業集積と高規格ネットワーク形成による相乗効果について紹介しました。

また、「岩手の港湾のこれから」として、モーダルシフトによる港湾利用の促進、コンテナ航路の経済波及効果とCO₂削減効果、風力発電の港湾利用、クルーズ船の寄港拡大について紹介しました。

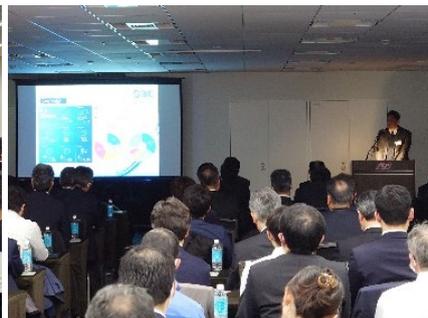
知事挨拶の後、重要港湾所在市である久慈市、宮古市、釜石市及び大船渡市の各市長等から、それぞれの港湾のメリット及び支援施策等をPRしました。

第1部最後の講演では、SMC株式会社 取締役執行役員サミエル・ネフ様と業務課長石原様のお二人による講演が行われました。

第2部では、岩手県港湾協会会長の洲上大船渡市長から港湾利用拡大に係る挨拶が行われ、情報交換会が行われました。



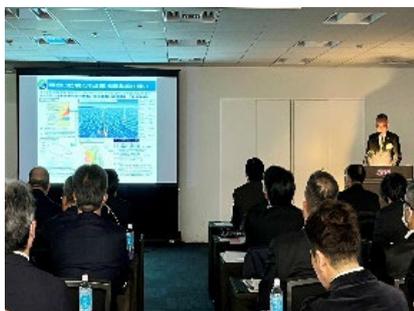
▲達増知事挨拶



▲SMC ネフ取締役執行役員講演



▲SMC 石原課長講演



▲港湾所在市長等による港湾紹介



▲第2部 情報交換会